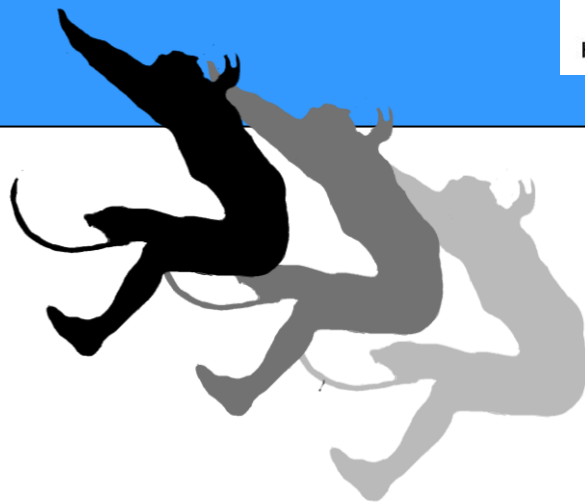




# NPO 法人 Happy Japan Project 平成22年度 活動報告書



NPO法人  
Happy Japan Project

<http://www.happy-j-project.com/>

# Happy Japan Project 平成22年活動内容

## ◆ 3月1日 渋谷区立常盤松小学校教育講演会（東京都）

渋谷駅からほど近いところにある常盤松小学校。

公立の学校ですが、「健康・勤勉・上品」を校訓として掲げるおしとやかな学校でした。皇室との関わりもあるそうです。子どもたちは「少しおとなしいかも」とPTAの皆さんとの打ち合わせの時に聞いていたんですが、なんのなんの元気でなつくのも早い可愛い子供たちでした♪

常盤松小学校の特徴は、「子供たちの手づくり」。

司会、進行、飾りつけまで全部子供たちの手づくりで、心の交流が出来たと思います。



## ◆3月5日 岩見沢市光陵中学校教育講演会(北海道)佐藤真海&池永憲彦

北海道石見沢市光陵中学校の5、6校時に「夢、いのち、感謝」をテーマに講演させていただきました。

田舎の小さな学校と思ったらとんでもない大きな学校で、生徒もみんな元気いっぱいでした。

佐藤真海&池永憲彦の講演スタイルも確立してきました。

### 講演の流れ

佐藤真海講演 →池永憲彦トーク&歌 →スポーツ義足（生徒さんの目の前で実際に義足からスポーツ義足に履き替える事によって子供達は興味津々）→実演（スポーツ義足で体育館の真ん中を駆け抜けて実感してもらう）

二人のトーク（質問形式で、真海から北京パラリンピック、夢、いのち、感謝、義足について楽しく、深く聞く）→生徒質疑応答 →挨拶の言葉

佐藤真海の話は子供達の心を捉え、また、生徒も聞く態度が良かった。こうした生徒と講演者の関係は学校側の配慮により、大きく変わっていく。学校側がきちっとした準備をしてくださったからこそ、こうゆういい関係が作れたと思う。

池永は卒業間近と言う事で、母校に作った卒業の歌をプレゼント。涙をこらえている生徒が印象的。



講演後は講演直後にすぐ書いた池永のブログに14件も生徒からのコメントが来て、とてもいい反響をもらえた。  
講演は市の市長や教育委員長も来てくださり、石見沢市にこれからの講演を依頼していただける事になった。



#### 生徒からのコメント

■こんにちわ (^▽^)

光陵2年です(・v・)今日の講演楽しかったです！来年も来てください(^o^)/歌最高でした・・・今までの思い出される感じで(ρ°)またコメします  
★ひかる 2010-03-05 19:10:07 >>このコメントに返信

■こんばんは☆

今回の講演で『神様は 自分が乗り越えられる試練しか 与えない』がとても印象的でした★これからたくさんの試練がまっている  
と思います. そんな時は この言葉を思い出し そして これから真海さんの言葉を 励みに頑張りたいです！

■ありがとうございました！

光陵の一年です！佐藤真海さんの話に感動です！自分も足をけがして生きる希望をなくしてましたが  
話を聞いてすごーく心に響きました！池永さんの歌を聞いて泣きそうになりましたが  
なんとか我慢しました！ホントにありがとうございました！

さーか☆2010-03-07 00:01:51

#### ◆3月18日 東京都知事認証 NPO 法人登記完了 (認証番号 1959 認証年月日 平成 22 年 3 月 1 日)



## ◆3月22日 東京都教育委員会主催「みんなで楽しむスポーツフェア」講演会 佐藤真海&池永憲彦

パラリンピック種目の他、ニュースポーツなど

「障害のある人もない人も子供も大人もみんなで一緒にスポーツを楽しもう！！」  
という東京都教育委員会主催のイベントが夢の島で開催。

日時 : 2010年3月22日 (月・祝) 10:00~16:00

場所 : BumB東京スポーツ文化館 メインアリーナとその周辺

参加費: 無料

パラリンピック種目やニュースポーツなど様々な団体に依頼してブース分けしていたので、参加者は楽しんでいました様子。HJPからは20人くらいの参加。残念な事に全体的な集客があまり出来てなく、講演の時だけでも人に呼び掛けてほしいという要望にもしぶしぶ答えた感じの雰囲気だった。それでも真海&池永の講演の時は人が集まってきてくれて無事終了。



このような参加型のイベントは単純に楽しい。

発見も沢山あるし、ちゃんと告知したら参加者はもっと増えるはず。

主催者と参加者の気持ちが一つになってこそイベントは成功するもの。

そうゆう所から直していけばもっとよくなっていくんだろうなって言うのが正直な感想。

そこで売っていた盲導犬のぬいぐるみ型キーホルダー&ストラップはものすごく可愛くて女性に人気だった。

HJPの仲間とこうゆう時間をもっと沢山過ごしたいと思った。

## ◆4月22日 HJP 理事会

### 決議事項及び検討内容

NPO設立挨拶状、会員募集、組織、PAJへの寄付、議事録について、5月2日イベント



# ヤクルトスワローズ・パラリンピック応援デー

## ◆5月2日 ヤクルトスワローズ・パラリンピック選手応援デー(神宮球場)

「せっかく多くの人が集まる球場で、しかもスポーツが好きな人が集まる場所だからこそ出来ることがあるだろう」

2009年11月29日に行われたバンクーバーパラリンピックのトーク交流イベントで協力して下さったヤクルトスワローズの館山投手が佐藤真海に言ったこの言葉で始まったこのイベント。神宮球場での2万人の中で行われたパラリンピック応援デーは、HJP始まって以来の巨大イベントになった

HJPからは30人以上が越智貴雄さんのパラリンピック写真展や、競技用器具の体験コーナーのボランティアスタッフとして参加した。



## 5月2日(日) 横浜戦で「パラリンピック選手応援Day」を実施

東京ヤクルトスワローズでは、5月2日(日)の横浜ベイスターズ戦(18時試合開始、神宮球場)において、「パラリンピック選手応援Day」を実施いたします。

東京ヤクルトスワローズの選手とパラリンピック日本代表の選手がタッグを組み、スポーツの素晴らしさを伝えていきます。

同イベントは館山昌平投手により発案され、当日は館山投手により招待されるバンクーバーパラリンピック出場選手50名(同伴者含む)が来場。スワローズ選手との交流や始球式を執り行うほか、球場正面において展示ブースや義足・車椅子体験コーナーを設置します。

- 開催日 5月2日(日)横浜ベイスターズ戦(18時試合開始、神宮球場)
- 予定イベント内容・バンクーバーパラリンピックメダリスト上原大祐選手による始球式
- ・スワローズ選手とパラリンピック日本代表選手の交流(写真撮影・練習見学・監督表敬訪問など)
- ・パラリンピック出場選手の観戦招待(同伴者を含めて50名)
- ・場内での競技用器具(アイススレッジ等)の展示・体験コーナー
- ・パラリンピック写真展及びメダルの提示
- ・ビジョンやパンフレットを用いてのパラリンピック競技についての紹介
- ゲスト  
上原大祐選手(アイススレッジホッケー)狩野亮選手(アルペンスキー)  
森井大輝選手(アルペンスキー)佐藤真海選手(陸上・走り幅跳び)他

### ●館山投手のコメント

「スポーツには、人に感動を与える力があります。そこにはプロもアマチュアも、そして健常も障害もありません。なぜなら

『壁や困難に立ち向かう』ことに人は感動を感じるからです。昨年、パラリンピックに出場した選手の方々と交流する機会をいただきました。障害を持つアスリートの皆さんも我々プロスポーツ選手と同様に競技と、そして自分自身と向き合っていることを知りました。

彼ら/彼女らが出場してメダルを競うパラリンピックは開催されるたびに世界中から注目を集めますが、障害を持った方のスポーツはもっともっと、スポーツとして身近に感じられるべき存在です。

『同じアスリートとしてスポーツの素晴らしさをもっと伝えていきたい。』そんな想いがあり、今回のパラリンピック選手応援デー』を発案しました。

僕たちプロ野球選手と同じく、パラリンピアンの方々も多くの子ども達に感動と勇気と与えています。スポーツの力で感動や勇気を与え続けているパラリンピック。ぜひ今回を機に注目してください」

## 競技を知るきっかけに

球場正面の特設テントのパラリンピックを紹介する展示会で、競技用具やパネルが展示されました。ヤクルトスワローズの皆さんも興味津々にじっくりと見てられました。

## 義足体験

体験コーナーでは実際に義足をつけて歩行にチャレンジ。体験された方のほとんどが、義足をつけて歩く難しさに驚いてました。



## パラリンピック選手紹介

試合前にはパラリンピック選手がグラウンドに登場し  
神宮球場スタジアムDJ・パトリックさんから  
試合前には、紹介がありました  
写真左から上原大祐選手（アイススレッジホッケー）  
狩野亮選手（アルペンスキー）、  
佐藤真海選手（走り幅跳び）  
森井大輝選手（アルペンスキー）、



## 関連記事

ヤクルトは2日の横浜戦（神宮）で「パラリンピック選手応援DAY」を開催した。バンクーバーパラリンピック出場選手約50人が招待され、アイススレッジホッケーの上原大祐選手（28）が始球式を務めた。球場正面では展示ブースや、義足や車いすの体験コーナーも設置された。このイベントは、昨年1月にパラリンピック関連イベントに参加していた館山昌平投手（29）が発案。この日、館山は「スポーツの力はすごい。僕自身もパラリンピアンの方たちから大きな勇気もらった。今度は僕らヤクルトの選手がパラリンピックの会場に足を運びたい」と話していた。  
日刊スポーツ

## ヤクルトが5月2日にパラリンピアンとイベント

神宮球場（東京都新宿区）で5月2日に行われるヤクルトー横浜戦で、障害者アスリートを応援するイベント「パラリンピック選手応援デー」が開催される。主催するヤクルト球団によると、プロ野球の球団とパラリンピック代表の選手会組織との協力イベントは初めて。

昨年、16勝で最多勝のタイトルを獲得した館山昌平投手（29）が

「障害を持った方のスポーツはもっと身近に感じられるべき」と球団に提案。その思いが一步踏み出した。

館山投手は昨年、障害者スポーツを自費で支援している企業経営者と知り合った。これをきっかけに「応援されている自分の今の立場からすると、もっと率先して支援してもいいのでは」と考えるようになったという。同時に、パラリンピアンである佐藤真海さん（28）との出会いも大きかった。早稲田大学のチアリーダーとして活躍していた佐藤さんだったが骨肉腫のため右足膝下を切断。義足となったが陸上競技に取り組み、2008年の北京パラリンピック走り幅跳びでは6位入賞を果たした。

「スポーツには人に感動を与える力がある。そこには健常も障害もない。それは、壁や困難に立ち向かうことに人は感動を覚えるから」と館山投手。寄付とは違った形で何かできないかと、今回のイベントを発案した。

当日は、バンクーバーパラリンピックのアイススレッジホッケーで銀メダルを獲得した上原大祐さんが始球式を行うほか、義足や車いすの体験コーナー、パラリンピックのメダルや写真の展示などが予定されている。

障害者スポーツはパラリンピック以外では情報量が少ないのが現状だ。佐藤さんは

「今回をきっかけにして、実際に見ることで、子供も『やってみよう』と勇気が湧くと思う。また、イベントがアスリート同士のつながりから声が上がって実現したのも大きい。他競技にもネットワークが広がれば」と期待する。

「同じアスリートとして、スポーツの素晴らしさをもっと伝えていきたい」との館山投手の願いを受け、球団は今後も隔月でイベントを継続開催していくことを検討している。

## ◆6月24日 足柄郡清水中学校教育講演会(神奈川県)

2009年講演で呼んで下さった川崎市生田中学校からのご縁でした。  
熱心な校長先生で、一週間前に事前学習もして子供達も楽しみにしてくれてたので、とてもいい時間が過ごせました。

3学年で23人の小さい学校でしたがとてもいい雰囲気の落ち着いた学校でした。  
男女の仲もよく、学校全体が家族のような感じ。(^-^)  
家でお茶栽培(足柄茶)をしているところも多いみたいです。

真海BLOGより



終わった後にも子供達がブログにコメントを書き込んでくれました。23人で12件のコメントはさすがに驚きました。

## ◆7月27日 HJP理事会

### 決議事項及び検討内容

- 挨拶状リスト、会員募集、名刺について、寄付金、報告事項

## ◆8月30日 HJP理事会

### 決議事項及び検討内容

- 岩見沢市東光中学校講演、事務局長選任、会員募集、事務用品、ホームページについて、カレンダーについて、委員会について(次世代育成委員会、スポーツ振興委員会、社会福祉委員会、会員交流委員会、総務委員会)



## ◆9月12日 国際スポーツ東京委員会 障害者スポーツ普及・啓発イベント ～感じるパラリンピック写真展～挑戦者たち～

2010年9月12日(日)

新宿西口広場イベントコーナーにて、パラリンピックを撮影して10年になる越智貴雄カメラマンによる写真の数々が展示されました。写真からは、選手達のイキイキした表情や、パラリンピック会場での臨場感が伝わってくるものばかりで行き交う人たちが足を止め、写真に吸い込まれるようにして眺めていた姿がとても印象的でした。

当日は、クロカンの新田選手、太田選手、アルペンスキーの大日方選手、アイススレッジホッケーの上原選手による豪華メンバーでのトークショーの他佐藤真海さんと、義肢装具士・臼井さんとの息の合ったトークショー、お二人の出会いの話や、義足の種類についての説明などもあり、終始会場は和やかな雰囲気に。。。

また義足使用者・陸上チーム「ヘルスエンジェルス」から6名の方に協力してもらい、実際に義足をその場で装着して頂いたり、その場で走って頂いたり  
砲丸投げ、円盤投げなども披露して頂きました。



最後にカメラマン越智さんからの挨拶もあり、普段圧倒されるような写真の数々を撮っているイメージとはガラリと変わり、とても癒し系の越智さんのコメントに、会場の人々も癒された事と思います。

当日は、TV局の撮影が入っていた事もあり、気がつけば、立ち見が出来る程の大盛況ぶりで、会場横では、競技用の車椅子、義足・義手の体験コーナーも設けられよりパラリンピックを身近に感じる事の出来たイベントとなりました。



#### ◆ 9月28日 北海道石見沢東光中学校教育講演会

■ 石見沢市に講演提案企画書を説明し本企画は承認された。東光中学校より前回（光陵中学校）と同様でと依頼して頂きました。全校370名程の学校だったが、また元気いっぱいの子供達が印象的。石見沢=子供が元気というイメージになったくらい。



真海ちゃんと一緒に走りたい人！  
って言うのと迷わずに沢山の生徒が元気よく手があがる。  
元気な子供達に真海ちゃんもリラックスしてぶっちゃけ話とかし始めて驚いた（笑）

#### ◆ 10月10日 大阪摂南大学学園祭特別教育講演会 佐藤真海&池永憲彦

池永が可愛がってる大学生が頑張って二人を呼んでくれた。  
いつもの教育講演会と違って、学園祭なのでスクリーンを使って派手目な演出をした。





## ◆10月7日 HJP理事会

### 決議事項及び検討内容

■岩見沢市東光中学校、HP、会員募集、組織編成、事業計画、その他

## ◆11月17日 HJP拡大理事会 各種委員会設置

### 決議事項

■岩見沢市東光中学校、事業計画、その他  
報告事項及び検討内容

■パラリンピック選手応援デーに係る決算報告について、  
チャリティーコンサートについて

WEBサイトのリニューアルについて、  
平成22年度の会員募集進捗状況について

各種委員会の組織体制・活動予定について、ゴミ拾いについて



## ◆11月28日 佐藤真海日テレ出演(16:25~17:25放送日本テレビ関東) リアル×ワールド伝えたい…24歳のわたしへ〜がんが教えてくれたこと

がんサバイバーの女性たちのリアルな姿を通して、前向きながんの番組を作りたいという27歳の女性ディレクター（乳癌経験者）制作の番組。

### 会社員／パラリンピック選手・佐藤真海さん(28)

チアリーダーとして活躍していた大学時代に骨肉種を発症した真海さん。「切断しなければ余命1年半…」命を守るため、苦渋の選択で右足の膝から下を切断し、絶望に打ちひしがれていたところ、義足をつけての

走り幅跳びに出会いました。そこから真海さんは、世界の舞台へ。闘病から2年後には、パラリンピック

に出場し、北京では6位入賞。そして今、目指すものは—

真海さんが義足で跳ぶ姿は、本当にかっこいい！そして、一社会人としても、障害を感じさせません。

なぜあんなにも前向きになれるのか—そのパワーの源を解き明かしたいと思います。



## ◆12月22日 Xmas チャリティコンサート「一人一人がサンタクロース vol.3」♪ 池永憲彦がアコースティックで届けるクリスマスライブ♪

クリスマスチャリティLIVEを開催し、任意でお客様に1000円以内のプレゼントを持ってきて頂き、集まったプレゼントをクリスマスに施設の子供たちに届けに行くという企画です。もう三年目ですが、今回は沢山の人が参加してくださり、今までで一番盛り上がりました。チケットも三日で完売。この日参加出来なかった人達も、郵送でプレゼントを送って頂き、集まった数は100個





◆12月24日 東京七生福祉園訪問 Xmas パーティ

去年、一昨年に引き続き、東京都七生福祉園を訪問。集まったプレゼント約100個をお届け。子供達と、ゲーム、歌で交流の後サンタクロースが登場。1時間にわたる暖かい時間を過ごしてきました。



小堀理事長がかなり盛り上げて下さいました。



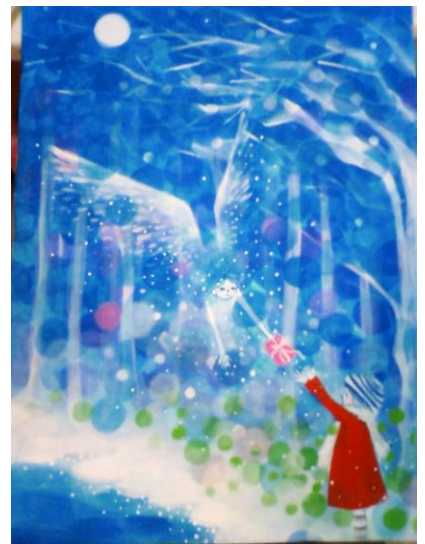
真海ちゃんとはもう訪問三年目。



今回は笛吹きのことちゃんも急遽参加してくれました。



一回パーティ、やってしまったら子供達は来年も楽しみにしてしまうもの。そのまでの責任もわかった上で続けていくという事の大切さを子供達の笑顔が教えてくれた。



施設にプレゼントされた奥山知佳さんの作品



## その他の活動

### ◆施設カレンダープロデュース

社会福祉法人「尾道さつき会」が運営する障害者施設の絵画活動プロジェクト『どんぐり工房』は、1990年以来多くの作品を生み出してきました。

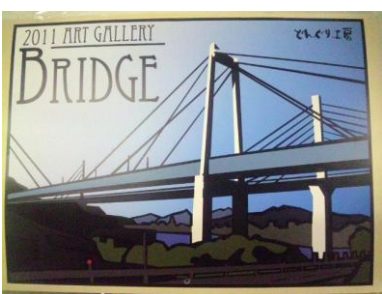
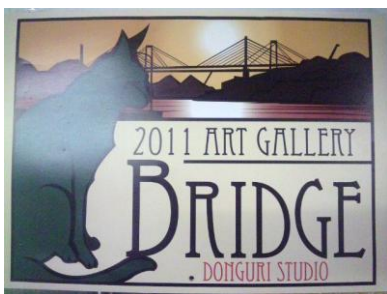
みずみずしい感受性、感動した熱い思い、ユニークな感性…。

その活動を広く知っていただくために、カレンダーを製作しています。

その活動にHJPが参加し、2009年カレンダープロデュースをした所、年内完売という快挙を成し遂げました。

2009年「onomichi」、2010年「VOICE(ボイス)」に引き続き、HJPの協力のもと製作チームを組み、

2011年ART GALLERY BRIDGE が完成し、3年連続の3100部完売を成し遂げました。



### ◆渋谷早朝ゴミ拾い

2月20日(日)、6月27日(日)、10月3日(日)

#### HJP主催の渋谷早朝ゴミ拾い

「できることから始めよう」から始まった恒例渋谷早朝ゴミ拾い。

参加した人はゴミ拾いをする事によって普段の生活の中でも「意識」が変わる。

「細くでも長く続ける」との意識で毎回開催されている。



## 会員交流

### ◆代々木 皿うどんの会

毎月開いている代々木「利代」での『皿うどんの会』。最近は、多くの参加者で賑い、異業種交流の場となっています。





◆11月25日 第一回釣り大会

HJPの仲間でカワハギ釣りに行きました。釣果はまあまあだったけど、念願の釣りだったのでとても楽しかったです。



おわら風の盆

